

第2章 文字の入力

1. IME 2010 の設定 ⇒ Word2013 別紙 2-3 参照

ひらがなやカタカナ、漢字などを入力するには「日本語入力システム」を使います。日本語入力システムは、日本語を入力するためのアプリケーションです。入力方式の設定や漢字などに変換するための辞書を管理しています。Office2010に標準添付されている日本語入力システムは「IME 2010」です。

IME 2010 の設定は、「言語バー」で行います。



1. ローマ字入力・かな入力

日本語を入力する方法には、「ローマ字入力」と「かな入力」があります。初期の設定ではローマ字入力ができる状態になっています。ローマ字入力とかな入力は、言語バーの **KANA** (KANA キーロック状態) をクリックして切り替えます。

2. 入力モード

「入力モード」とは、キーボードから入力する文字の種類を指定するものです。入力モードには、次の5種類があります。

表示	入力モード	入力される文字
あ	ひらがな	全角のひらがな
力	全角カタカナ	全角のカタカナ
A	全角英数	全角の英数字
ㇿ力	半角カタカナ	半角のカタカナ
A	半角英数	半角の英数字

※ 初期設定は「ひらがな」になっています。入力モードは言語バーの **あ** (入力モード) で切り替えます。

※ 漢字に変換できる入力モードは「ひらがな」「全角カタカナ」「半角カタカナ」です。





2. 文字入力

1. ローマ字入力


言語バーがローマ字入力できる状態になっていることを確認します。

ローマ字のつづりで入力し、**Enter**キーで確定します。

【ローマ字入力の規則】








- 「ん」の入力…「N」を2回入力
- 「を」の入力…「WO」
- 促音「っ」の入力…子音を2回入力（いった→ITTA）
- 拗音（「ちゃ」「ちゅ」「ちょ」など）の入力…子音と母音の間に「Y」または「H」を入力（「ちゃ」→「TYA」）
- 小さい文字を単独で入力…先頭に「L」または「X」を入力
- 句点「。」…  読点「、」…  長音「ー」… 
- 空白の入力… **スペース**キーを押します。（半角スペースは**Shift**キーを押しながら）
- 数字の入力…数字が割り当てられているキーをそのまま押します。
- 記号の入力…キーの下側に表記されているものは、キーをそのまま押します。
キーの上側に表記されているものは、**Shift**キーを押しながらキーを押します。
- 英字の入力…入力モードを「**半角英数**」または「**全角英数**」にして、英字のキーをそのまま押します。
英字の大文字小文字の切り替えは、言語バーの  (**CAPS** キーロック状態) をクリックします。
Shiftキーを押しながら英字を入力すると、一時的に大文字と小文字が切り替えられます。

2. かな入力

言語バーの  (**KANA** キーロック状態) をクリックします。

かなキーを押して入力し、**Enter**キーで確定します。

【かな入力の規則】

- 濁音・半濁音の入力…「が」→「か」+  「ば」→「は」+ 
- 促音・拗音の入力…**Shift**キーを押しながら小さい文字が表記されているキー「っ」「ゅ」などを押します。
- 句読点の入力…**Shift**キーを押しながら句読点キー   を押します。
- 長音「ー」の入力…長音キー  を押します。
- 「」の入力…**Shift**キーを押しながら   を押します。
- 空白の入力… **スペース**キーを押します。（半角スペースは**Shift**キーを押しながら）
- 数字の入力…入力モードを「**半角英数**」または「**全角英数**」に切り替えて、数字キーをそのまま押します。
- 記号の入力…入力モードを「**半角英数**」または「**全角英数**」に切り替えます。

キーの下側の記号はそのまま、上側の記号は **Shift** キーを押しながらキーを押します。

- 英字の入力… 入力モードを「半角英数」または「全角英数」にして、英字のキーをそのまま押します。

大文字小文字の切り替えは、言語バーの **CAPS** (CAPS キーロック状態) をクリックします。

Shift キーを押しながら英字を入力すると、一時的に大文字と小文字が切り替えられます。

3. 入力中の訂正

1) 入力中の文字の削除

カーソルの左側の文字は、**Back Space** で削除します。
 カーソルの右側の文字は、**Delete** で削除します。

カーソルを「こ」と「た」の間に置いた場合

↓

こたつ → たつ (**Backspace** を押す)

こたつ → こつ (**Delete** を押す)

2) 入力中の文字の挿入

文字を挿入する位置にカーソルを移動します。

文字を入力し、**Enter** キーで確定します。

カーソルを「こ」と「い」の間に置き、「ま」を入力

↓

こいぬ → こまいぬ

※ 入力中の文字をすべて取り消すには、文字を確定する前に **Esc** キーを押します。

3. 文字の変換

1. 漢字の変換

文字を入力し、変換キー (**スペース** または **変換**) を押すと、漢字に変換できます。
 変換された漢字は、**Enter** キーを押すか、または、続けて次の文字を入力すると自動的に確定されます。

① 「きく」と入力します。・・・・・・・・ きく 入力中は文字の下に点線が付きます。

② **スペース** キーを押して変換します。・・・・ 聞く 変換された文字の下に実線が付きます。

③ **Enter** キーで確定します。・・・・・・・・ 聞く 文字の下の線が消えます。

※ 変換後、確定する前に **Esc** キーを押すと、変換する前の状態 (読みを入力した状態) に戻ります。

【変換したい漢字が表示されなかった場合】

Enter キーで確定する前に、もう1度 **スペース** キーを押します。

変換候補一覧が表示されます。

何度か **スペース** キーを押して、目的の漢字が選択されたら **Enter** キーで確定します。



※ 候補の選択には、**↑** **↓**キー、候補の前にある数字入力、マウスでクリックなどもあります。

2. 再変換

確定した文字を変換し直すことができます。

再変換する文字にカーソルを置いて**変換**キーを押すと、変換候補一覧が表示され、他の漢字を選択できます。

<その他の方法>

再変換したい文字上で右クリックすると、ショートカットメニューに変換候補が表示されています。

3. 記号の変換

「〒」「TEL」「◎」などの特定の記号は、読みを入力して変換できます。

【よく使う記号】

読み	記号
かっこ	() [] <> 《》 「」 『』 【】
まる	○ ● ◎ ①～⑳ ㊤ ㊦ ㊧
さんかく	△ ▲ ▽ ▼ ∴ ∷
やじるし	→ ← ↓ ↑ ⇔ ⇒
たんい	℃ % ‰ Å £ \$ mm cm km mg kg m ² フツ カロ メル
けいさん	+ - × ÷ ≤ ≠
から	～
こめ	※
ゆうびん	〒
でんわ	TEL
ほし	☆ ★ ※ *
かぶしきがいしゃ	(株) (株) KK
ゆうげんがいしゃ	(有) (有)
へいせい	平成
しょうわ	昭和
いち	① I i

※ このほかにも、読みを入力して変換できる記号はたくさんあります。

4. ファンクションキーを使った変換

F6～**F10**のファンクションキーを使って、入力した読みを変換できます。

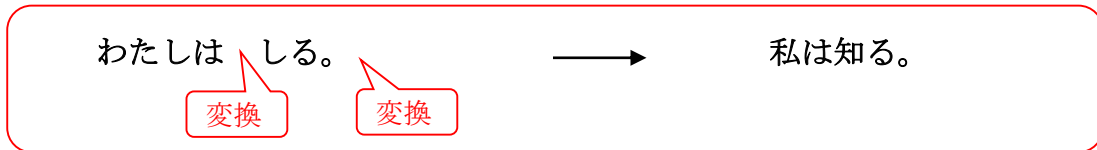
「ぱそこん」と入力した場合

ファンクションキー	変換の種類	変換後の文字 (ローマ字入力)
F6	全角ひらがな	ぱそこん
F7	全角カタカナ	パソコン
F8	半角カタカナ	パソソ
F9	全角英数字	p a s o k o n n
F10	半角英数字	pasokonn

4. 文章の変換

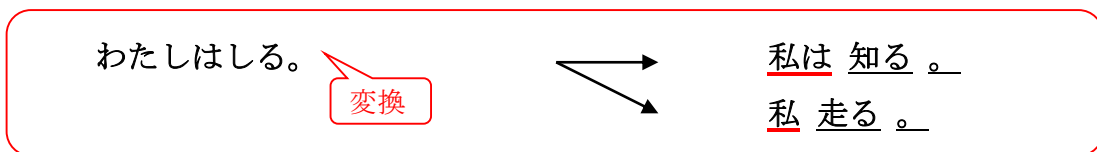
1. 文節単位で変換する

文節ごとに入力し、**スペース**キーを押して変換します。
適切な漢字に絞り込まれるため、効率よく文章が変換できます。



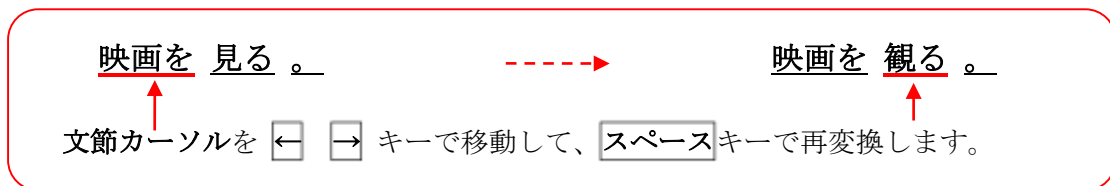
2. 一括変換する

「。」(句点)「、」(読点)を含めた一文を入力し、**スペース**キーを押して変換します。
自動的に文節が区切られます。

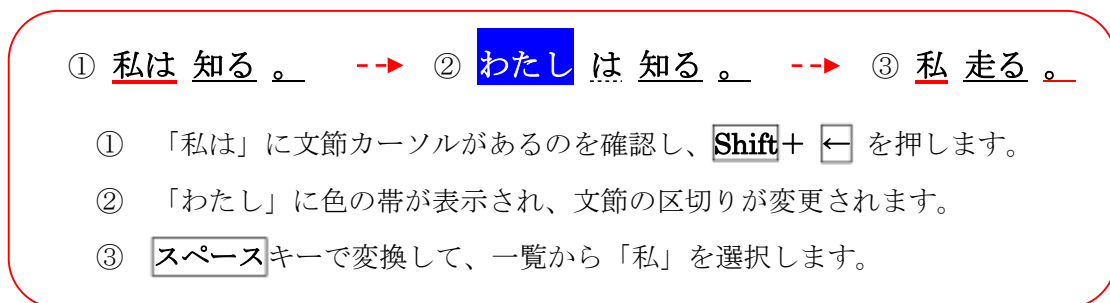


【一部の文節が目的の漢字に変換されなかったとき】

- 文節カーソルを移動して変換し直す

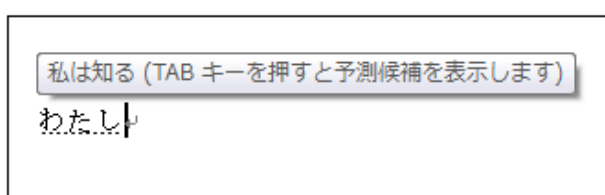


- 文節区切りの変更をして変換し直す



【予測入力】

以前入力した内容と同じ文章を入力する場合、読みを入力して入力履歴から続きの予測候補を表示することができます。



Tab キーを押すと予測候補の一覧が表示されます。

